



2025 年 6 月 25 日

作業用の器具が列車と接触した事象について

本日（6 月 25 日）、弊社が発注する請負工事において、作業用の器具が列車と接触する事象が 2 件発生しました。

接触した列車は、器具の撤去後、運転に支障がないことを確認し、運転再開しています。この事象によるけが人はいません。詳細は現在調査中です。

《 1 件目 》 新札幌駅構内で建築限界測定器が貨物列車と接触した事象

1. 発生日時 2025 年 6 月 25 日（水）1 時 46 分頃
2. 発生場所 千歳線 新札幌駅構内 下り線
3. 概 要 新札幌駅構内において、弊社発注工事を請け負っていた（株）B L C が線路上の砕石を整理する作業を行っていましたが、線路上に支障物がないか確認するための器具（建築限界測定器）を線路上に置いていたままにしていたため、進来する列車と接触しました。
本来は列車の運行前に線路付近に器具等がないかを確認し、当該の建築限界測定器は線路外に撤去するべきでした。
なお、建築限界測定器は列車と比べて非常に軽量であることから、接触しても列車が脱線する危険はありません。また、作業員はすでに離れた箇所へ移動していましたため、列車に接触する可能性はありませんでした。
4. 関係列車 貨物列車（越谷貨物ターミナル発 札幌貨物ターミナル行き）
5. 接 触 物 建築限界測定器
寸法 3,150mm × 475 mm × 375 mm
重量 8.2kg



建築限界測定器外観



建築限界測定器組み立て後のイメージ
（今回とは別箇所撮影）

《 2 件目 》 七飯駅～新函館北斗駅間でバッテリーケースが貨物列車と接触した事象

1. 発生日時 2025 年 6 月 25 日（水）10 時 48 分頃

2. 発生場所 函館線 七飯駅～新函館北斗駅間

3. 概 要 函館線七飯駅～新函館北斗駅間において、弊社発注工事を請け負っていた(株)北信工が踏切用特殊信号発光機の見通しを支障する雑木の伐採作業を行っていた際に、列車の通過を線路外の安全な場所で待避していたところ、線路付近に置いていた工具のバッテリーケースと進来する列車が接触しました。

本来は列車の運行前に線路付近に工具等がないかを確認し、バッテリーケースは線路外に撤去するべきでした。

なお、バッテリーケースは列車と比べて非常に軽量であることから、接触しても列車が脱線する危険はありません。また、作業員はすでに作業を終了し、線路外に待避していたため、列車に接触する可能性はありませんでした。

4. 関係列車 貨物列車（札幌貨物ターミナル発 越谷貨物ターミナル行き）

5. 接 触 物 バッテリーケース

寸法 400mm × 300 mm × 130 mm

重量 約 2kg



接触したバッテリーケース



バッテリーケース接触時のイメージ

《会社としてのコメント》

北海道運輸局による強化型保安監査体制の中、このような事象を発生させてしまい、お客様や関係する皆様にご心配をおかけしましたことをお詫びいたします。

《再発防止策》

協力会社含め、事象の周知と注意喚起を行いました。また、詳細は確認中のため原因判明後、さらに再発防止策を講じます。